

No. 39 号 ひらつかの風

2024年 7月号
(令和 6 年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちが、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1センター情報 『ひらつか市民活動センターまつり開催日決定 !!』
- P.2団体レポート 『平塚市手をつなぐ育成会』
- P.3センターレポート・お役立ち情報
- P.4センター情報・平塚市情報

団体 レポート

『平塚市手をつなぐ育成会』

～知的障がいのある人とその家族、
支援者が集う活動と場づくりが新たなスタートラインに～



センター情報

ひらつか市民活動センターまつり

日時 ● 11月 24 日(日) 10:00～15:00 **開催日決定!!**

6月14日(金)第1回センターまつり実行委員会を発足し、上記日程で開催することが決まりました。
登録団体の皆様の出展のお申込みをお待ちしております。

※尚、11月は市民活動推進月間として、市民活動に関する情報発信をより強化していきます。

● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!

センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

団体
レポート

『平塚市手をつなぐ育成会』

～知的障がいのある人とその家族、支援者が集う
活動と場づくりが新たなスタートラインに～



2024年5月22日、平塚市総合体育館プール棟2階福祉ショップかざぐるま内に「ともいきスペース」がオープンしました。ここは平塚市手をつなぐ育成会の新たな活動の拠点です。

開所のこの日を迎えたメンバーの胸にはメンバーのこれまでとこれからへの思いがつまっています。

今回、代表の鈴木亜紀子さん、役員の鳥丸さん・長橋さん・井上さんにお話を伺いました。



■思いと願いを持ち続ける、届け続ける、そして形にしてい

平塚市手をつなぐ育成会(昭和32年設立、以下育成会)は上部組織に一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、神奈川県手をつなぐ育成会があり、知的障がい児者とその家族及び支援者が会員となっています。これまでは教育の充実を目指して特殊学級・養護学校(当時の名称)の設置運動、福祉的就労の場である地域作業所(当時の名称)を作る、法律や制度作成に関わることなど知的障がい児者に関する様々な活動をしています。

昨年3月19日に平塚市制施行90周年の記念事業の一環として総合公園内にインクルーシブ遊具の整備されたみんなの広場がオープンしました。「娘が思いっきり安心して遊べる場所ができることで、我が子だけでなく皆が楽しむことができる場所になる。」と、メンバーの長橋さんはご自身とお子さんとの経験を思いにしてお話くださいました。育成会のメンバーが毎年市に要望書を提出し続ける、自分たちの声を届ける活動を続けることで実現する。これは我が子への思いを越えた、共生社会への思いへと繋がっていきます。



▲昨年春、総合公園みんなの広場
オープニング時



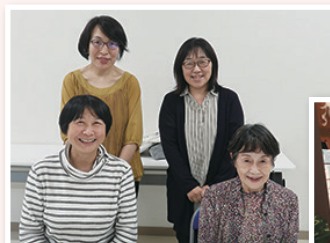
▲福祉会館まつりの出展の様子



▲「ありがとうショップ」
にて手作り班の作品
の販売

■新たな拠点は活動と情報の発信地

今から2年前、NPO法人平塚4Hの会より、運営している「福祉ショップかざぐるま」内のスペース提供の話がありました。森川理事長と何度も話し合いを重ねるなか、見附町にあった拠点の閉所を昨年決め、日揮社会福祉財団の助成金の一部と市民活動推進補助金を活用し、「ともいきスペース」がオープンしました。



▲育成会役員のみなさん

5月にオープンした
「ともいきスペース」▼



かざぐるまのドアを開けるとすぐ右手にともいきスペースがあります。育成会の手作り班はバッグや帽子などの布製品やコースターなどの小物、樹脂製のキラキラしたビーズを使ったダイヤモンドアートの作品を制作しています。これらは市役所1階のありがとうショップ・西部福祉会館福祉ショップ・福祉会館まつり・ひらつか市民活動センターまつりで手に取ることができますが、今後はともいきスペースでの制作や販売も検討中です。

ともいきスペースはインクルーシブ遊具が設備された総合公園敷地内にあり、レストランかざぐるまではコーヒーや軽食を楽しむこともできます。メンバーだけの場ではなく、公園やプール施設を訪れる人にとっても気軽に立ち寄れる場所にしたいという思いが詰まった拠点です。

■思いのバトンを渡す、受け継ぐ、それが歴史になっ

「目の前の我が子のためにやっていたことが、子どもの将来のために、そしてその後の人のためにと繋がっている。」と会長の鈴木さん。課題に向き合い、取り組みを続ける、それが育成会の歴史になっています。会員の高齢化や減少など新たな壁に向き合わなければならぬ段階の今、会のバトンを握り、次へと繋いでいくことこそ私たちの使命という思いが鈴木さんはじめメンバーのお話に溢れていました。

障がいがある人もそうでない人も共に生きる社会で、手をつなぐ育成会のメンバーは新しい拠点で新たな出発点に立っています。

『ともいきスペース』

住所 ● 平塚市大原1-1

トッケイセセキュリティ平塚総合体育館プール棟2F

※営業時間は福祉ショップかざぐるまに準ずる



センター
レポート

第18回 ひらつか市民活動センターまつり 実行委員会が発足しました！

6月14日(金)、14団体14名で実行委員会が発足しました。実行委員長にはボーイスカウト平塚市連絡協議会の久保田浩巳さん、副実行委員長にはNPO法人平塚のら猫を減らす会の小泉浩さんが選出されました。11月の市民活動推進月間やセンターまつりに向けて準備を進めてまいります。実行委員会開催の様子は、センター Web サイト等で発信いたしますのでご覧ください！

実行委員の紹介(団体名のみ) ◆14団体14名

- ボーイスカウト平塚市連絡協議会
- NPO法人 平塚のら猫を減らす会
- 医療生協かながわ
- ガールスカウト神奈川県第23団
- 神奈川県傾聴赤十字奉仕団
- 神奈川県社会福祉士会湘南西支部
- 心をつなぐ紙芝居の会
- 湘南いきいきリンパの会
- NPO法人 湘南ふじさわシニアネット 平塚支部
- NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ湘南ブロック
- 平塚花のまちづくりの会
- ひらつか防災まちづくりの会
- NPO法人 フラワーセラピー研究会
- 楽しく吹き矢湘南なぎさ



お役立ち
情報

協働を再考する ～NPOの価値とは何かを考えてみよう～



ご存知のように人口減少・高齢化が急速に進行し、それに伴い地域社会の課題は多様化複雑化し、単独で解決するには益々難しい状況となっています。そのような中、最近とみに協働の必要性を耳にする機会が増えてきました。一方でNPOと行政の協働は、かつてのような勢いがなくなってきているように感じています。

そこで改めてNPOの価値や存在意義について考えてみたいと思います。NPOの大きな価値の一つは、市民の参加と協力のツールであり、市民社会の媒介者であると言われています。

NPOの価値とは...

- ◆NPOは市場原理からは適正に供給されない課題に柔軟に対応できる。地域のニーズに密着した細やかな活動を得意とし、行政や企業ではカバーしきれない課題に対応できる。
- ◆NPOは実際の活動を通じて得た経験が強みとなり、社会を動かす力を秘めている。NPOが「放っておけないこと」や「新しい問題」に迅速に反応し、最新の状況や課題に対するノウハウを持っているため、政策提言などで国を動かす力も持っている。
- ◆NPOは社会課題の解決や、より良い社会の実現のために、市民が自発的に参加できる機会を提供している。



まとめるとNPOは、地域全体の課題解決力を向上させ、市民が主体となった地域社会の形成に重要な役割を果たしていると言えるでしょう。

近年のNPOと行政の協働を見てみると「NPOと行政が協力して実現すべき価値は何か？」また、自分たちの地域で「この地域の豊かさとは何か？それはどのような価値として明確化できるのか？」そして「それが実現されているかどうか、それを確認するためにどのような評価がされるべきか」というような議論が不足しているために協働が思うように進まないのではないかと考えます。

一方で、活動資金が得られるから協働事業を実施するという考え方も、NPOが単なる下請けとなり、NPOの本来果たすべき役割・価値とは何か？というところから外れてしまうようにも思います。

協働を今一度、価値の問題から話し合っていくことが、薄れかけているNPOと行政の協働の再構築への道ではないでしょうか？

センターでは令和6年度、改めて「協働」をテーマに研修を企画いたしました。

是非多くのNPOの皆さんと(もちろん行政職員も)協働を再考していきたいと思ひます。(さ)



センター情報

● 団体活動にお役立てください！

防災座談会 vol.3

毎年実施している防災座談会。今回は昨年実施した団体アンケート結果をもとに防災連携のネットワークづくりを団体の皆さんと共に考えていきたいと思います。団体の専門性や持てる力を防災まちづくりに活かしていきましょう。

日時 ● 9月29日(日) 14:00～16:30

場所 ● ひらつか市民活動センター

対象 ● 地域活動団体・市民活動団体・防災関連団体 定員 ● 25名(参加無料)



市民活動応援講座「人とつながる、まちとつながる、未来とつながる みんなで創ろう、住みやすいまち」

住みよいまちづくりのために、今やNPO・市民活動団体はなくてはならない存在です。連続3回の講座＆ワークショップで、これからの未来まちづくりに向けて、活動をアップデートしてみませんか？

日時 ● ①9月1日(日) 14:00～16:00 ②10月5日(土) 14:00～16:00

③10月27日(日) 14:00～16:00

場所 ● ひらつか市民活動センター

講師 ● ①③山ノ内 凜太郎氏・米元 洋次氏(合同会社 Active Leaners)

②椎野 修平氏(日本NPOセンター 特別研究員)

対象 ● 平塚をもっと住みやすいまちにしたいと考えている市民活動団体 ◆ 活動を見直しアップデートしたいと考えている団体 ◆ 行政との連携・協働を考えている市民活動団体 / 協働を推進したい市職員

参加費 ● 無料 定員 ● 10団体(20名程度)



平塚市情報

● 令和5年度実施『協働事業報告会』を開催しました！



令和6年5月9日(木)に令和5年度に実施した協働事業の報告会を開催しました。

市民提案型協働事業

- ①『社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業』
..... NPO法人 湘南NPOサポートセンター×協働推進課
- ②『農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と
人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業』
..... NPO法人 ぜんしん×農水産課・農業委員会事務局

※実施された協働事業の内容等はこちら

平塚市で実施された協働事業 ◆ https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page-c_02194.html



編集後記

新緑のトンネルの下を自転車で走りながら 39号初取材を行ないました。平塚市手をつなぐ育成会さんの貴重なお話をお聞きし執筆、入稿、発送と気付けば入梅間近の頃。湘南ひらつか七夕まつりも終わっていいよ夏本番ですね！下半期には本センターのイベントが目白押しです！是非ご参加ください♪(お)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571

FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2024年6月15日現在)

登録団体数 ● 454 団体

(内訳 市民活動団体…320 団体、一般団体…134 団体)



センターのマスコット
たすけくとあいちちゃん

